

議案第 1 0 3 号

南丹市農業集落排水処理施設条例の一部改正について

上記の議案を提出する。

令和 7 年 1 1 月 2 6 日 提出

南丹市長 西村 良平

南丹市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

南丹市農業集落排水処理施設条例（平成 18 年南丹市条例第 225 号）の一部を次のように改正する。

現行	改正後（案）
<p>（排水設備の設計及び工事の実施）</p> <p>第9条 排水設備の設計及び工事（管理者が定める軽微な工事を除く。）の施工については、管理者が指定する南丹市下水道排水設備工事指定業者（以下「指定業者」という。）でなければ行ってはならない。ただし、市において工事を実施したとき _____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>は、この限りでない。</p>	<p>（排水設備の設計及び工事の実施）</p> <p>第9条 排水設備の設計及び工事（管理者が定める軽微な工事を除く。）の施工については、管理者が指定する南丹市下水道排水設備工事指定業者（以下「指定業者」という。）でなければ行ってはならない。ただし、市において工事を実施したとき <u>又は災害その他非常の場合において、管理者が他の市町村長（地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第7条の規定により置かれた下水道事業の管理者を含む。）の指定を受けた者に工事を行わせる必要があると認めるとき</u></p> <p>は、この限りでない。</p>

2 (略)

(手数料)

第17条 排水設備義務者は、次の表に掲げる区分により、検査、認定手数料
_____を市へ
納入しなければならない。

区分	金額	納付時期
排水設備工 事申請手 料	1,000 円	第 8 条の規 定による確 認を受ける とき

2 指定業者の認定等を受けようとする者は、申請のときに、次の区分により
_____手数料を市
に納付しなければならない。ただし、
南丹市公共下水道条例(平成18年南丹市
条例第222号)第32条第2項の規定により
指定業者の認定を受けている場合は、
手数料の納付を免除する。

種類	区分	手数料
指定業者登 録手数料	新規 1 件	10,000 円
	につき	
	更新 1 件	10,000 円
	につき	

備考 改正部分は、下線の部分である。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第 17 条の改正規定は、令
和 8 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の南丹市農業集落排水処理施設条例第 17 条の規

2 (略)

(手数料)

第17条 排水設備義務者は、南丹市上下
水道事業手数料徴収条例(令和7年南丹
市条例第 号)で定める手数料を市へ
納入しなければならない。

2 指定業者の認定等を受けようとする者は、申請のときに、南丹市上下水道事
業手数料徴収条例で定める手数料を市
に納付しなければならない。ただし、
南丹市公共下水道条例(平成18年南丹市
条例第222号)第32条第2項の規定により
指定業者の認定を受けている場合は、
手数料の納付を免除する。

定は、令和 8 年 4 月 1 日以後に受け付けた申請、届出、申込みその他の手続（以下「申請等」という。）に係る手数料について適用し、同日前に受け付けた申請等に係る手数料については、なお従前の例による。